**2017年6月改訂(第4版(新記載要領に基づく改訂))
*2014年9月改訂(第3版)
医療機器届出番号 34B1X00001000078

機械器具74　医薬品注入器

一般医療機器　　経腸栄養注入セット　70400000

ジェイフィード　ペグアシスタ専用栄養セット

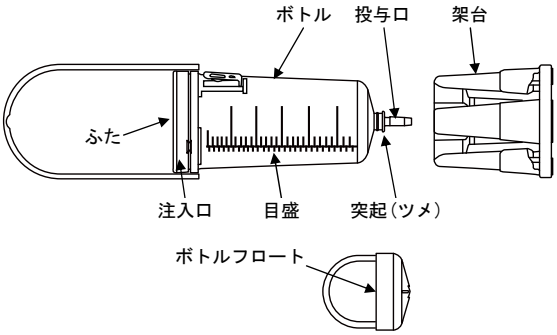
再使用禁止　　(専用ボトル)

【禁忌・禁止】
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品はボトル、ふた、ボトルフロート、架台からなる。

〈構成(代表例)〉



・本品は以下の原材料を使用している。

構成部品	原材料
ボトル	ポリプロピレン
ボトルフロート	ポリカーボネート

【使用目的又は効果】

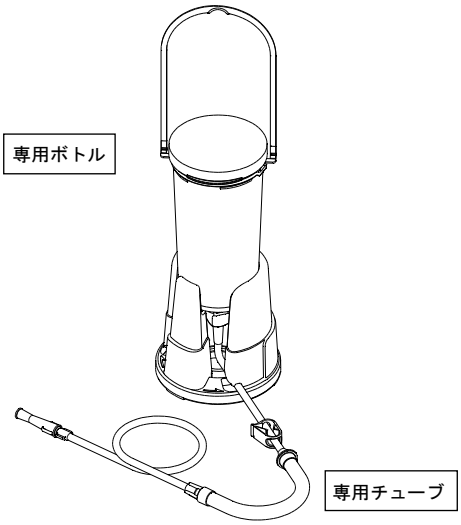
胃瘻栄養用チューブと連結して栄養剤、医薬品等を注入する器具。

**【使用方法等】

〈組み合わせて使用する医療機器〉

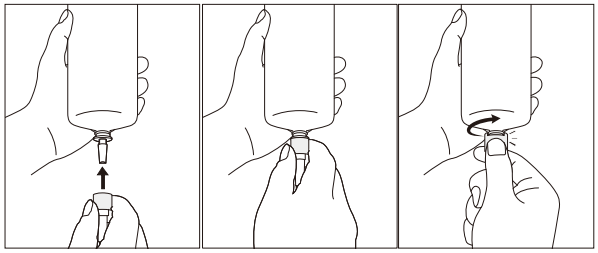
本品は別売の専用チューブに接続し、専用チューブをセットしたジェイフィード　ペグアシスタ(届出番号 34B1X00001000077)を使用して注入を行う。

〈専用ボトルと専用チューブの接続例〉



〈使用方法〉

1. 包装から本品を取り出します。
2. 専用チューブのロック部分を持ち(図 1)、メスコネクタをまっすぐ投与口へ突きあたるまで挿入します(図 2)。次に押し込んだ状態で右に回転させ、投与口の突起(ツメ)と接続します。接続できた場合はカチッと感があります(図3)。



(図1)　(図2)　(図3)

3. ボトルを架台に装着するか、ガートルスタンド等につり下げます。このときボトルが傾いていないことを確認します。
4. 専用チューブのクランプを閉じます。
5. ふたを開け、あらかじめ調製した栄養剤等を、汚染に注意して注入口からボトルに充填し、ボトルフロートを栄養剤等の表面中央に浮かべてふたをします。充填量が多く、ふたを閉じられない場合は、ボトルフロートを用いず以降の操作を行い、残量が300mL程度になってからボトルフロートを浮かべます。
6. ジェイフィード　ペグアシスタのハンドルを回し、注入を行います。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

*1. 本品と専用チューブを接続する場合は、ロック部分が本品の投与口の突起(ツメ)に確実に接続(ロック)されていることを確認すること。また、ロック部分を過度に回転させないこと。[接続が不十分な場合、外れ、液漏れ、空気混入が生じるおそれがある。][過度に回転させるとロック部分や突起(ツメ)が破損する場合がある。]

**2. 投与口のテーパ部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。[接続部に緩みが生じるおそれがある。]

3. 栄養剤等の注入時は、ボトルフロートの入れ忘れに注意すること。[ライン内に空気が混入するおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は接続部の緩み、液漏れ、破損及び詰まり等について定期的に確認すること。
2. 固形物が残る栄養剤等を注入しないこと。また、本品の中で溶解、調製する場合は十分に栄養剤等が溶解していることを確認すること。[投与口が詰まる。必要な注入ができない。]
3. 容器の目盛は目安として使用すること。
4. 本品に栄養剤等を入れた状態では、傾けたり、上下に振ったりしないこと。[ふたは密閉できる構造ではないため、内容物が漏れるおそれがある。]
5. 本品に栄養剤等を充填した状態で長時間の保管及び注入の中断はしないこと。[特に低温下での保存は、栄養剤等の粘度上昇につながり、注入量低下や注入不能になるおそれがある。]
6. 本品を落下させたり、衝撃を加えたりしないこと。[破損及び液漏れが生じるおそれがある。]

〈不具合･有害事象〉
その他の不具合
空気混入、漏れ、外れ、緩み、破損、削れ

【保管方法及び有効期間等】
〈有効期間〉
3年［自己認証（当社データ）による］
包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売業者
株式会社ジェイ・エム・エス
電話番号：082-243-5806